

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 C-9-1 事業名 地域コミュニティ集会所緊急整備事業（白河市久保地区集会所）
事業費 総額：24,873 千円（国費：18,654 千円） （内訳：設計費 1,470 千円、工事費 23,403 千円）
事業期間 平成 24 年 8 月～平成 25 年 8 月
事業目的・事業地区 東日本大震災により被害を受けた市内久保地区のコミュニティ施設である集会所を取壊し、新たな集会所を建設する。  ※久保地区概要 世帯：39 世帯 人口：93 人 <令和 2 年 12 月 1 日現在>
事業結果 平成 24 年度 設計業務 既存集会所の取壊し 平成 24 年度～25 年度 集会施設設備工事 木造平屋建て 93.16 m <sup>2</sup>
事業の実績に関する評価  ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 久保地区は 39 世帯と市内では規模の小さいコミュニティであるが、地区内に急傾斜特別警戒区域を抱えていることから、震災直後は避難経路や互いの安否確認など、不安を感じた住民が多かった。 そのため、地区住民のつながりやコミュニティ活動の重要性が再認識されており、拠点となる集会所を整備することによって、活動がより活発化し、復興への大きな原動力となっている。 （直近 3 年平均 年間利用者 279 人）  ② コストに関する調査・分析・評価 白河市久保地区のコミュニティ活動の拠点となる集会所の建設について、市の定める標準建築費に従い積算、工事を実施しており当該事業費は適正なコストとなっている。  ③ 事業手法に関する調査・分析・評価 平成 24 年 8 月から 10 月にかけて設計業務を行い、設計書完成後速やかに指名競争入札を行って平成 25 年 1 月に工事請負契約を締結した。敷地を有効活用する観点から擁壁の仕様変更を行ったため、平成 25 年 1 月から 8 月までと建設工事期間を延長することとなったが、その他は計画どおり完了することができたところであり、事業手法として妥当なものと考えられる。
事業担当部局 白河市民生活部生活防災課 電話番号：0248-22-1111

# 工事施工前



平成 25 年 1 月 28 日	測点	南 側
工事概要	施 工 前 (南側)	



平成 25 年 1 月 28 日	測点	西 側
工事概要	施 工 前 (西側)	

# 竣功写真



平成 25 年 8 月 16 日	測点	南 側
工事概要	竣 功	



平成 25 年 8 月 16 日	測点	西 側
工事概要	竣 功	

# 竣工写真



平成 25 年 8 月 16 日	測点	集会室
工事概要 竣 功		



平成 25 年 8 月 16 日	測点	集会室
工事概要 竣 功		

# 竣功写真



平成 25 年 8 月 16 日	測点	湯沸室
工事概要		竣 功



平成 25 年 8 月 16 日	測点	湯沸室
工事概要		竣 功

# 竣工写真



平成 25 年 8 月 16 日	測点	多目的トイレ
工事概要		竣 功



平成 25 年 8 月 16 日	測点	多目的トイレ
工事概要		竣 功